

利益ある成長の再構築

~グローバル・マーケットリーダーを目指して~

2009年9月05日

アンリツ株式会社
社長 戸田 博道



東証第1部:6754
(<http://www.anritsu.co.jp/j/ir>)

Discover What's Possible™

日経IRフェア 2009

Anritsu

注 記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的
事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を
含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関
する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能
性」やその類義語を用いたもの限定されるものではありません。実際の業績は、
さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知お
きください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、
米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や
競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引
き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなど
です。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、
法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、
将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

内 容

- 会社概要、沿革
- アンリツの事業概要
- 事業紹介（計測器事業、産業機械事業、情報通信事業）
- 通期業績の推移
- 株主・投資家の皆様へ

会社概要



社名	アンリツ株式会社
本社所在地	神奈川県厚木市恩名5-1-1
創業	1895年(明治28年)(石杉社)
資本金	14,049百万円(H21.3.31現在)
売上高	83,940百万円(H20年度:連結)
従業員数	3,697名(H21.3.31現在:連結)
証券コード	東証第1部 6754

アンリツグループ

国内:12社

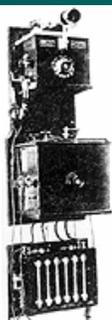
アンリツ産機システム
アンリツネットワークス
東北アンリツ
アンリツ計測器カスタマサービス
アンリツデバイス
アンリツプレジジョン
アンリツエンジニアリング など

海外:24社

Anritsu Company(米国)
Anritsu A/S(デンマーク)
Anritsu EMEA Ltd.(英国)
Anritsu Company Ltd.(中国)
Anritsu Industrial Solutions
(米国、英国、中国、タイ)
など

会社沿革 110年を越えるハイテクカンパニー

- 1895年 石杉社(せきさんしゃ、その後共立電機)創業
- 1931年 **安**中電機製作所(無線通信機器)と共**立**電機(有線通信機器)を合併して「**安立**電気株式会社」を創立
- 1968年 東証第1部上場
- 1985年 「アンリツ株式会社」に社名変更
- 1990年 Wiltron(現Anritsu Company、米国)を買収
- 2005年 NetTest(現Anritsu A/S、デンマーク)を買収

1900	1950	1975	2000
 無線電信送信機	 船舶用無線電信装置	 公衆電話	 光計測器
 世界初の無線電話機			 サービス・アシュアランス
			 携帯電話計測器

情報通信の進歩とともに、時代の求める最先端ソリューションで発展

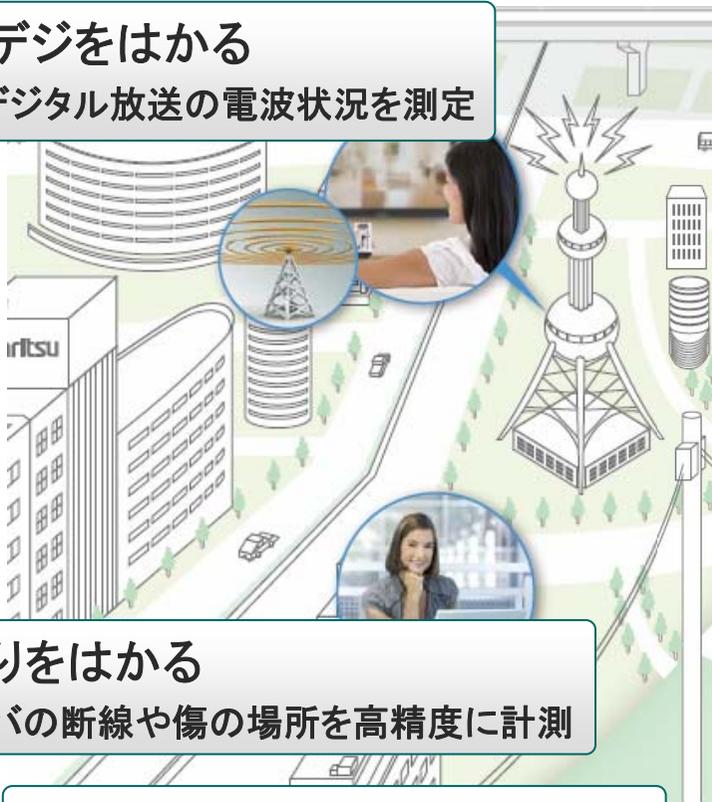
“はかる”事業



はかる、みまもる。あんなところにもアンリツ。

地デジをはかる

地上デジタル放送の電波状況を測定



ケイタイをはかる

携帯電話の開発・生産や携帯電話ネットワークの建設・保守で電波や信号を測定

ひかりをはかる

光ファイバの断線や傷の場所を高精度に計測

交通機関や河川をみまもる

道路や河川の状況をリアルタイムで監視

車をはかる

通信対応カーナビ、ETCなどの計測

食べものをはかる

レトルトなどの製造現場で、異物を検出

顧客と提供ソリューション



最終ユーザー (安全・安心で快適な社会)



オリジナル & ハイレベルな技術の活用により、
計測・品質保証・情報通信ソリューションを提供し、
安全・安心で快適な社会の実現に貢献

事業領域



食品・薬化品の品質・
計量検査市場



X線異物検出機

IPネットワーク
システム市場

(公共情報システム)

帯域制御装置



光ギガアクセス伝送装置



ICT(情報通信技術)産業向け
開発・製造・保守市場

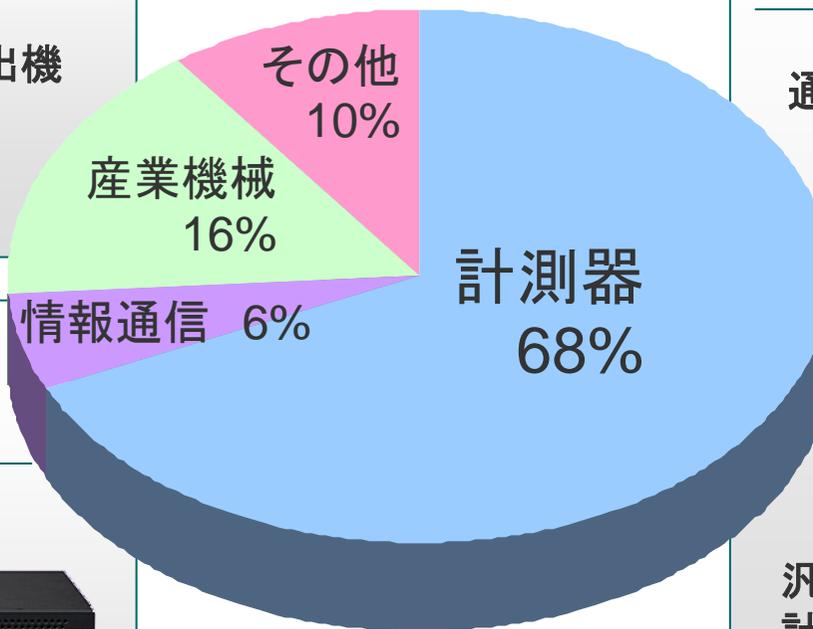
通信インフラ市場向け計測器



携帯端末市場向け計測器

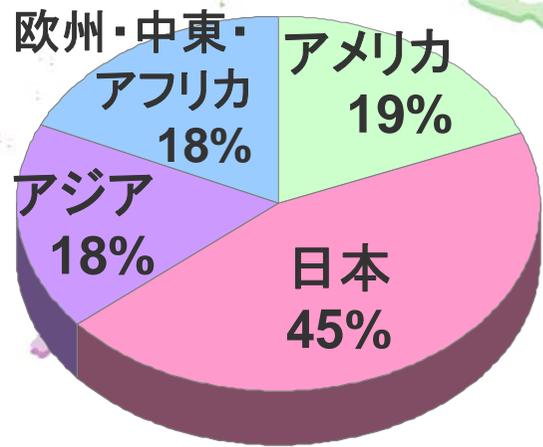
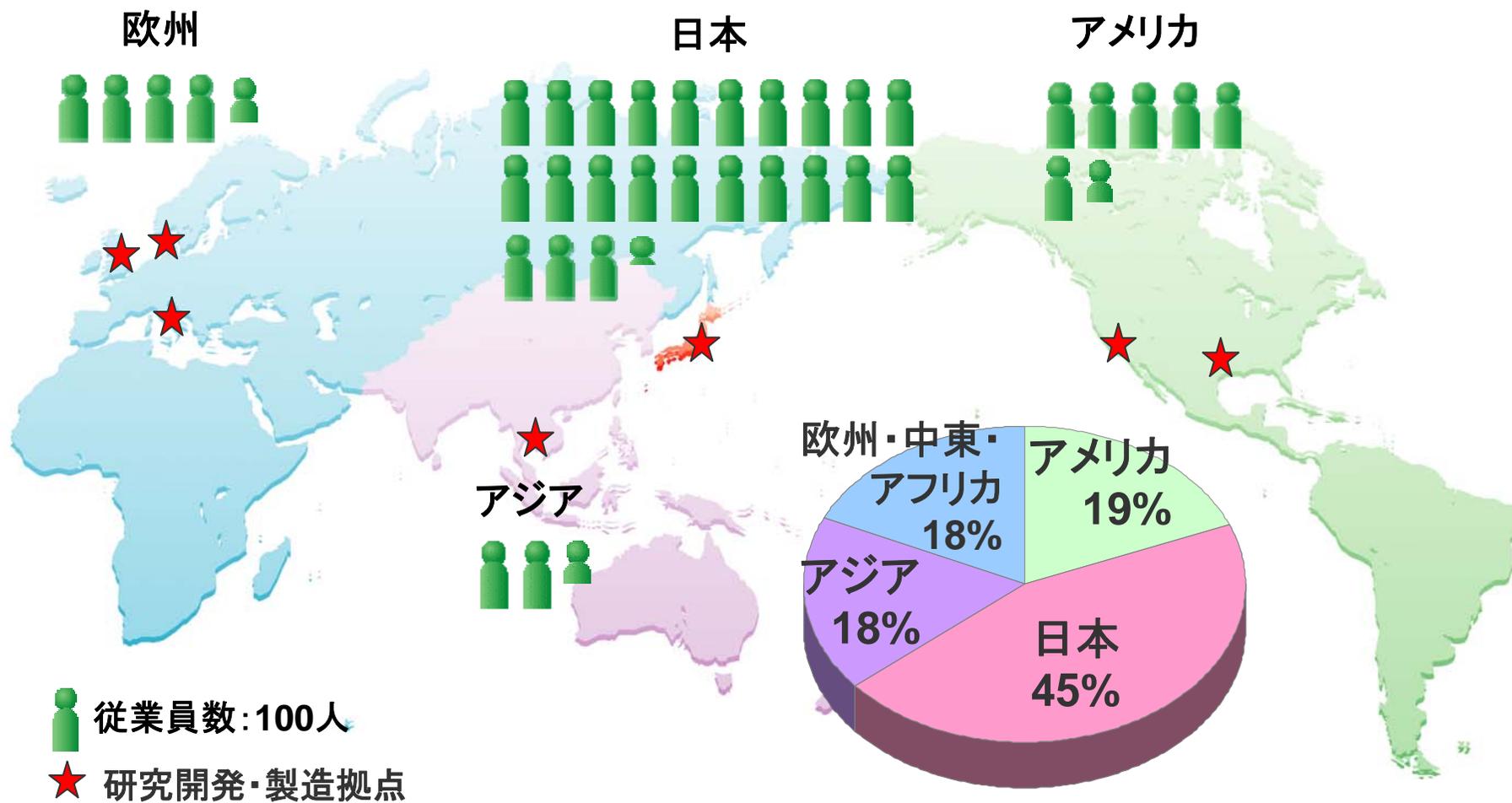


汎用(電子デバイスなど)向け
計測器



2009年3月期
連結売上高
(839億円)

グローバルな事業展開



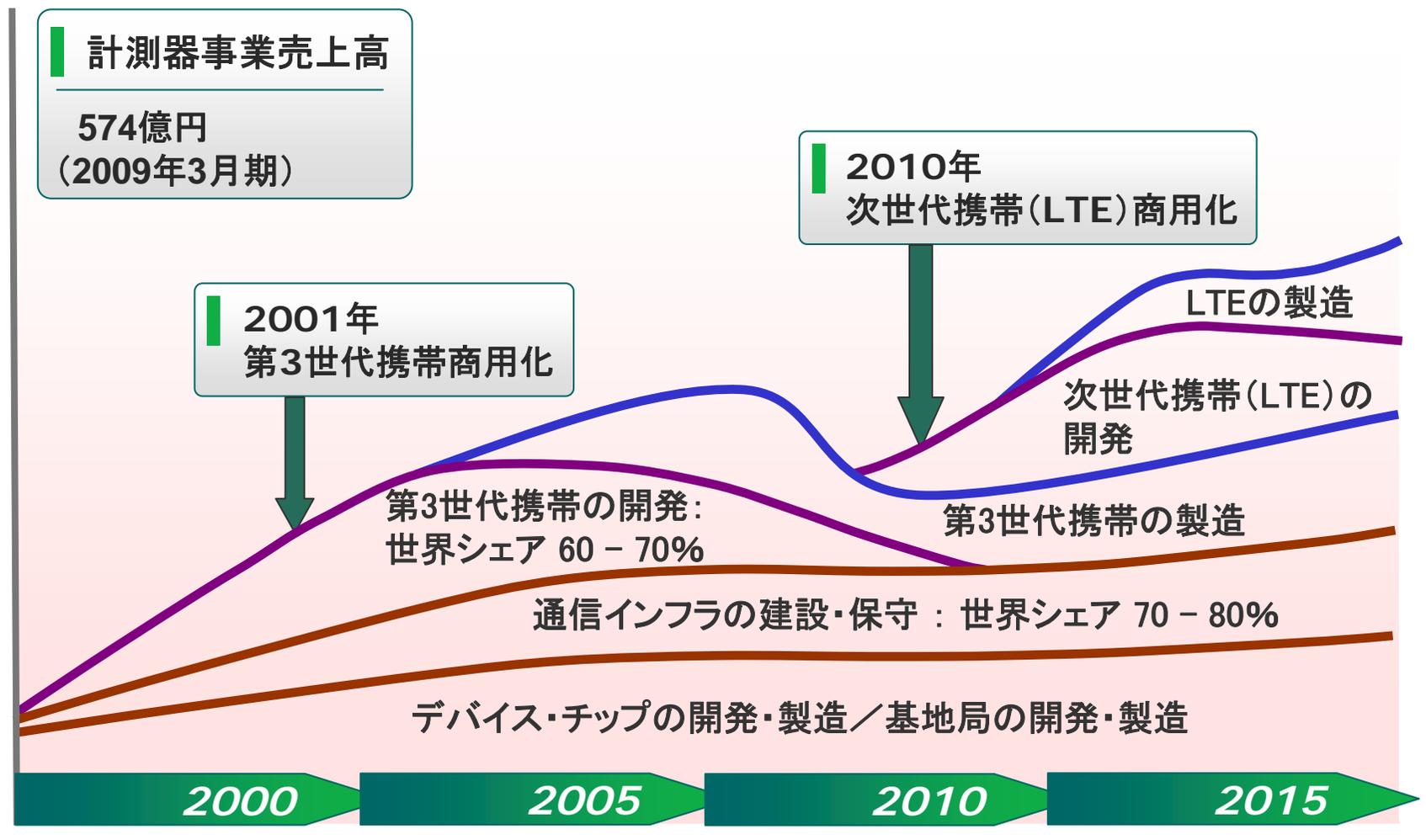
2009年3月期連結売上高の地域別比率

事業紹介

- 計測器事業
- 産業機械事業
- 情報通信事業

計測器事業：携帯関連の計測ビジネスの推移

開発向け先端ビジネスと製造・保守向け安定ビジネス



計測器事業：次世代携帯(LTE)の市場機会



今後10年以上続くビジネスの開始

- 無線端末で光ファイバー並みのスピード
- 第3世代携帯から世界中で徐々に移行
- IPネットワーク(クラウド)への接続手段



	2010	2011	2012	20xx年
日本	ドコモ イーモバイル	ソフトバンク	KDDI	<div style="text-align: center;"> <p>LTE普及</p> <p>本格化</p> <p>各種報道記事より</p> </div>
米州	ベライゾン	AT & T	+++	
欧州	テリアソネラ	+++	+++	
アジア	KT, SK	中国移動	+++	

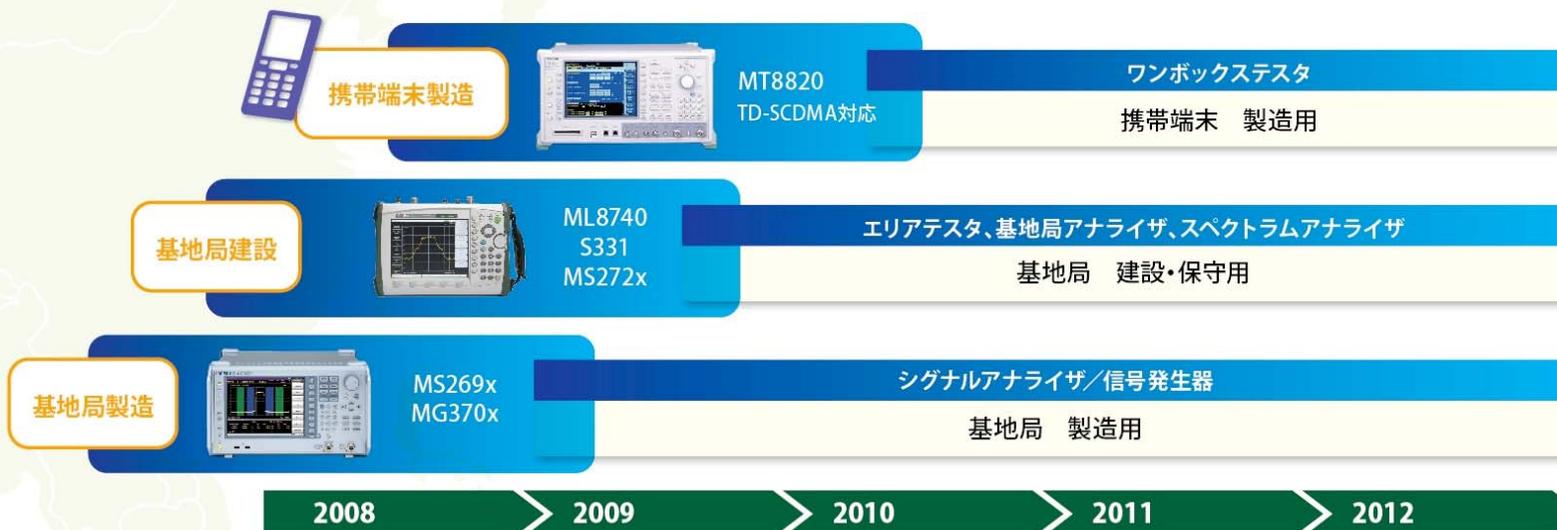
計測器事業：中国3Gの事業機会とソリューション提供

今後、第3世代携帯からLTEまで続くビジネスの開始

- 中国第3世代携帯のライセンス発行
- 人口13億人(携帯電話加入者 約7億人)の世界最大の携帯端末市場



通信事業者	チャイナモバイル社	チャイナユニコム社	チャイナテレコム社
通信方式	TD-SCDMA	W-CDMA	CDMA2000
2009年設置基地局数	60,000基地局	70,000基地局	60,000基地局



食品検査市場における競争力強化・海外への拡大

対象市場

食品、薬品、化粧品など

提供ソリューション

X線異物検出機、重量選別機、
自動電子計量機など

売上高

130億円
(2009年3月期)

食の安全・安心意識
に支えられた安定的な
検査需要



現地のニーズに
あわせた製品の提供



海老向け計量システム(ベトナム)



協業によるシステムソリューション事業の推進

対象市場

官公庁、社会インフラ、
民間ネットワークなど

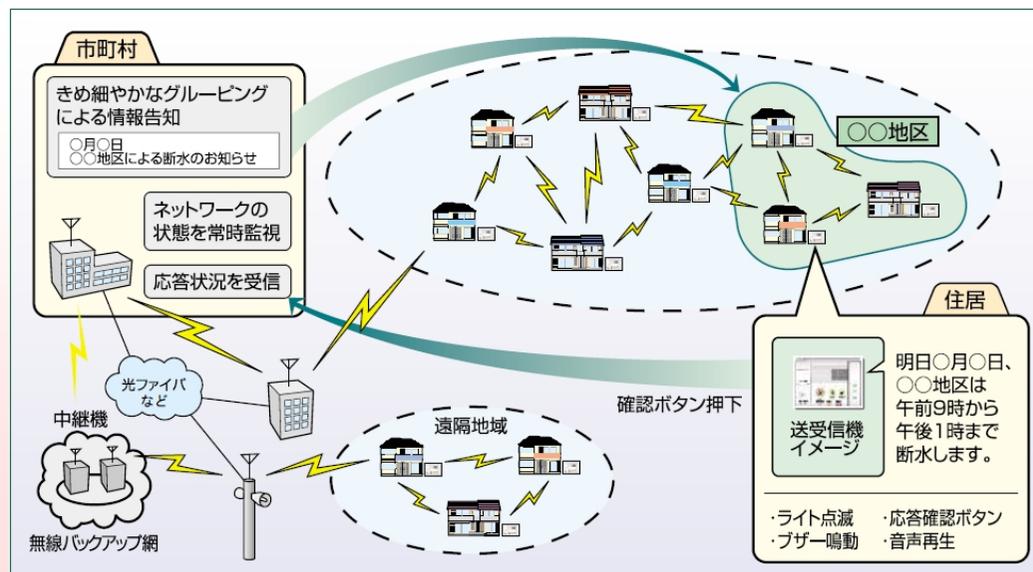
提供ソリューション

映像監視システム、帯域制御装置、
減災コミュニケーションシステム

売上高

52億円
(2009年3月期)

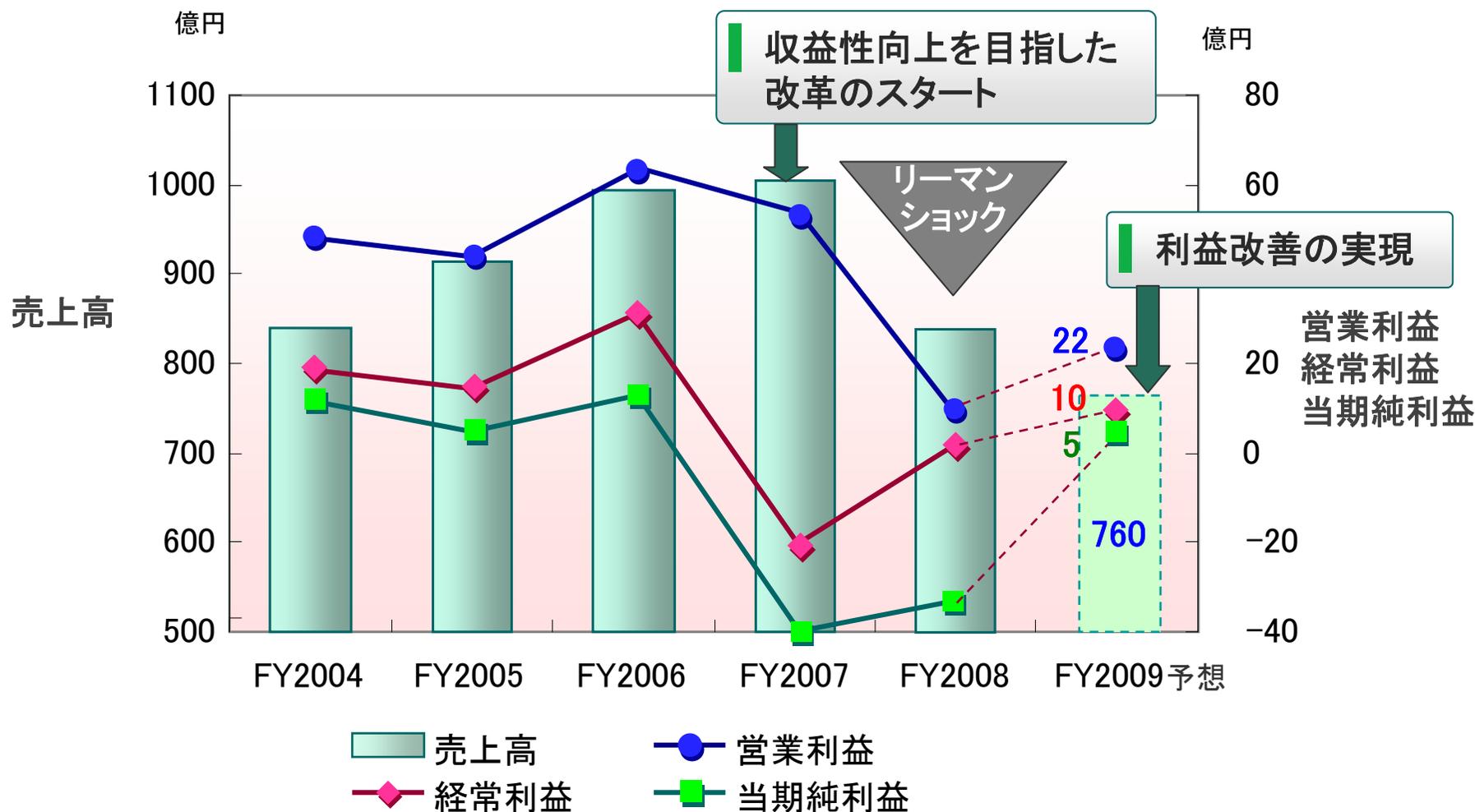
減災コミュニケーションシステム



帯域制御装置



通期業績の推移(連結)



(注) FY2008年から棚卸評価損を営業費用に計上

今後とも変わらぬご支援を
お願いいたします

業績連動の
株主還元

当期は
無配予定

透明性の高い
IR活動

日経IRフェア
ホームページ

早期回復に向けた
体質改善

中期的経営目標
営業利益率10%以上
ROE 10%以上

外部の視点で
ガバナンス

社外取締役
社外監査役

誠実な企業活動で
社会との調和実現

環境負荷軽減

Anritsu

Discover What's Possible™